

教育委員会事務局文化財課
担当者 安（やす）
内線 5625
直通 225-1844

国の文化財の指定について

- 1 国の文化審議会（会長 しまたに ひろゆき 島谷 弘幸）は、令和6年6月24日（月）に、
にし していえん 西氏庭園（金沢市）を名勝に指定するよう、文部科学大臣に答申した。
- 2 答申どおり指定されれば、県内の国指定名勝は10件（特別名勝兼六園1件を含む）となる。

にし し てい えん 西 氏 庭 園

- 1 名 称 西氏庭園
- 2 種 別 名勝
- 3 所在地 金沢市長町3丁目1番ほか
- 4 面 積 1, 143. 61 m²
- 5 所有者 個人

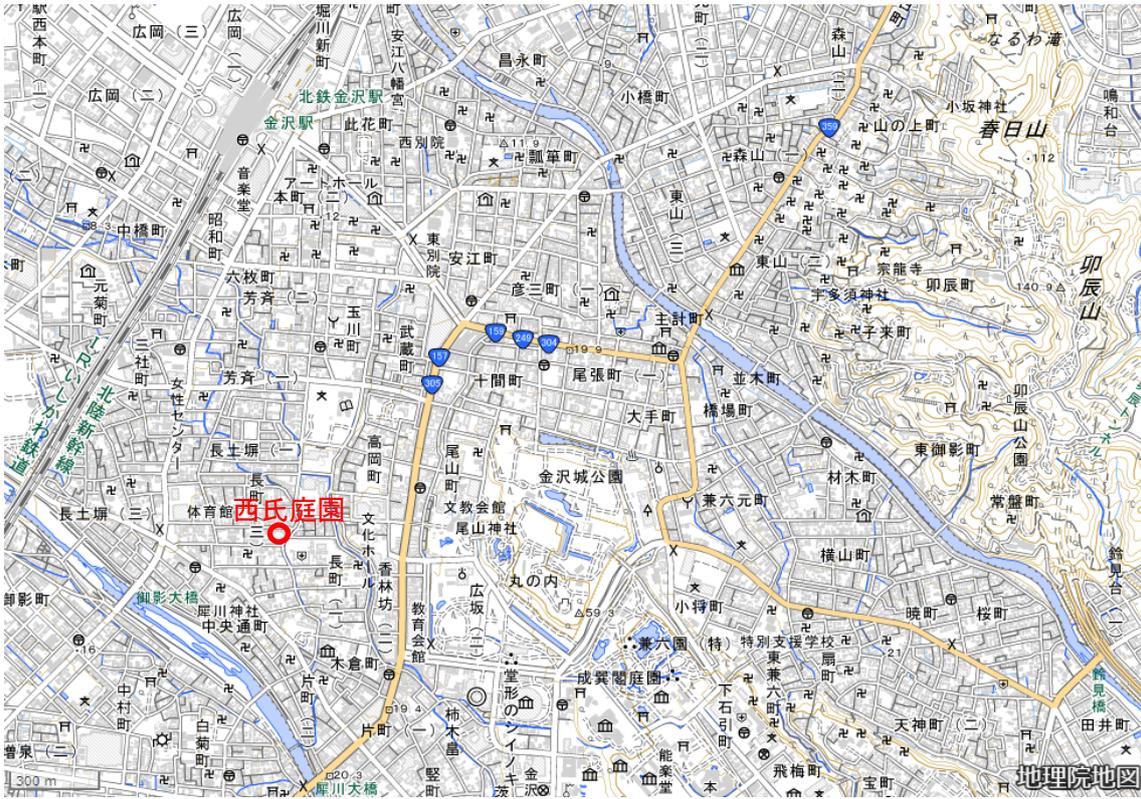
6 概 要

西氏庭園は金沢市の中心市街地で、城下町の武家地であった長町のおおののしょう大野庄用水沿いに所在する。大正5年（1916）頃に土地を取得し、住宅と庭園を整備して以来、代々継承されている。

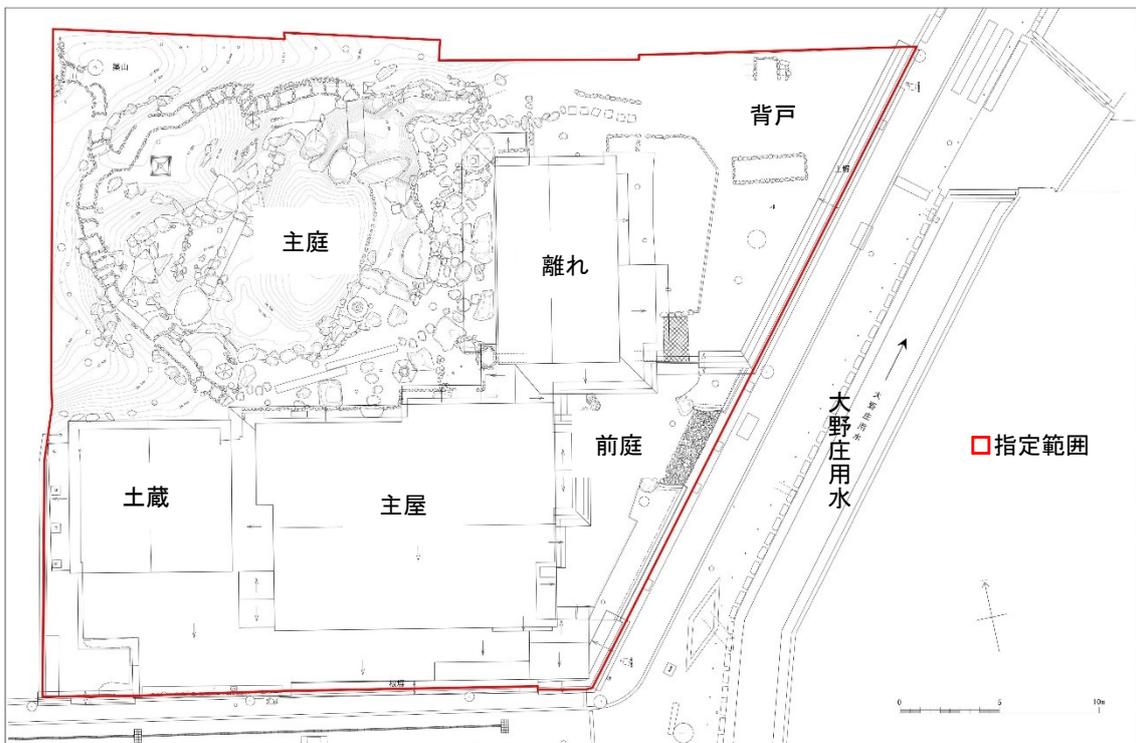
庭園は主庭しゅにわ、前庭まえにわ、背戸せどで構成され、主庭は中央に池泉ちせん、敷地北西隅に高く土盛りした築山つきやまを配し、園路を巡らせることで、立体的な設えを、住宅の主屋と離れから観賞するとともに、回遊も楽しむことができる。

池泉は巨石等により修景され、大野庄用水を水源として導水・排水されている。庭石と石造物には北陸、近畿、東海、瀬戸内など国内各地の石材が使用されている。植栽はマツ等の高木、ツバキ等の中木、ナンテン等の縁起木、山野草と多くの植物で構成され、ドウダンツツジとモミジが特に彩を添える。

西氏庭園は城下町の武家地の伝統的な宅地の在り方を踏襲しつつ、新たな趣向と工夫を凝らした優れた近代の庭園であり、芸術上及び学術上の価値が高いことから、名勝に指定して保存を図ろうとするものである。



西氏庭園 位置図



西氏庭園 配置図



西氏庭園 池泉・築山



西氏庭園 池泉・主屋・離れ